

箱根駅伝6区で 本校卒業生 横井裕仁くん 昨年を上回る快走

平成 30 年 1 月 3 日 (水)

新春 1 月 3 日 (水) 第 94 回箱根駅伝 6 区で、本校卒業生、帝京大学 3 年 横井 裕仁 (ひろひと) くんが昨年以上の快走を見せてくれました。(区間 4 位。昨年は 9 位)

芦ノ湖は晴れ。出発時刻 8 時の予想気温は -1°C 。日差しはあるが厳しい寒さが続き、山を下りるまでは氷点下だという。身体を温めておくことが必要だ。しかし、昨年もこの区間を走った横井くんはウォーミングアップ十分だ。軽く 3 回ジャンプをし、両足首をそれぞれ 2~3 度回してその時を待つ。

往路トップの東洋大学から 6 分 18 秒遅れの 12 番目のスタート。まずは 4.5km を順調に上り、そのあとは高低差 800m を一気に下る。下りだした途端、突き当りの風景はたちまち両側へ分かれるようにずんずん目の前へ展開してくる。顔に当る早春の風、足元に躍るアスファルトの動揺。地名は小涌園前だが、沿道の声援が大きく湧き起こるカーブで 10 位に並ぶ。

家族のウォーミングアップも万全だ。元日の夜中に津島市の自宅を出発し、2 日早朝に箱根入り。元日には津島神社、2 日には箱根神社に詣でて疾走を祈ったとのこと。当日は、昨年同様 6 区中間地点付近で待機するも、この時点で既に 4 人を抜く、まさに韋駄天の走り。自分たちの前を、さっと一瞬で通り過ぎてしまったあとの充たされた空虚感。家族にとっては、この走りゆく時間が黄金のように光ったことだろう。

19.08 キロ地点では、「ファイヤーレッド横井」の火の出るような走りが炸裂。5 人目を抜き去りついに 7 位に。そしてそのまま小田原中継所に飛び込んだ。

テレビ観戦していた卒業生からは、「次の選手にタスキを渡してからも地面に倒れこんだり、抱きかかえられたりすることもなく、余裕の走りだった」、「かけ寄るスタッフに笑顔で『大丈夫です』という感じのしぐさが、またよかった」との声が多く寄せられた。走り終わってからも、津島高校の誇れる完璧な選手 (complete athlete) であった。

タスキは、チームの選手と選手をつなぐだけのものではない。親と子、そして卒業生とも、仲間ともつないでいる。

《参考》第 94 回箱根駅伝 区間順位表 (復路) 【HP から引用】

6 区			
順位	大学名	選手名 (学年)	記録
1 位	青山学院大	小野田勇次 (3)	58:03
2 位	東海大	中島怜利 (2)	58:36
3 位	法政大	佐藤敏也 (2)	58:49
4 位	帝京大	横井裕仁 (3) 愛知 津島高	59:20 昨年は 1:00:00
5 位	東洋大	今西駿介 (2)	59:31



画像は全てご家族から提供 (帝京)